

## 若年層は「覗き見・置き忘れ対策」、シニア層は「ウィルス対策」重視の傾向

～スマホのセキュリティ対策、年代により対策が異なる傾向が明らかに～

株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所

## 目次

調査結果 1 : スマートフォンのセキュリティ対策 (年代別)

調査結果 2 : スマートフォンのセキュリティ対策 回答傾向によるグループ分け

## ■ 調査結果

## 1ー スマホのセキュリティ対策、パスワード変更や画面ロックの利用が半数

スマートフォンの普及が7割を超え、生活の中にも溶け込んだ感はあるが、その一方、スマートフォンに関わる事件、事故についても、多々発生し社会的課題となっている。スマートフォンが皆にとって快適な存在となるために、どのような対策が有効か検討するため、モバイル社会研究所では2018年3月にスマートフォンに関わるセキュリティとマナーについて、全国調査をおこなった。

その調査結果より、今回はスマホのセキュリティ対策について、報告する。まずはどのようなセキュリティ対策をおこなっているか聞いたところ、図1の通り、4人に3人は何らかの対策を行っていた。

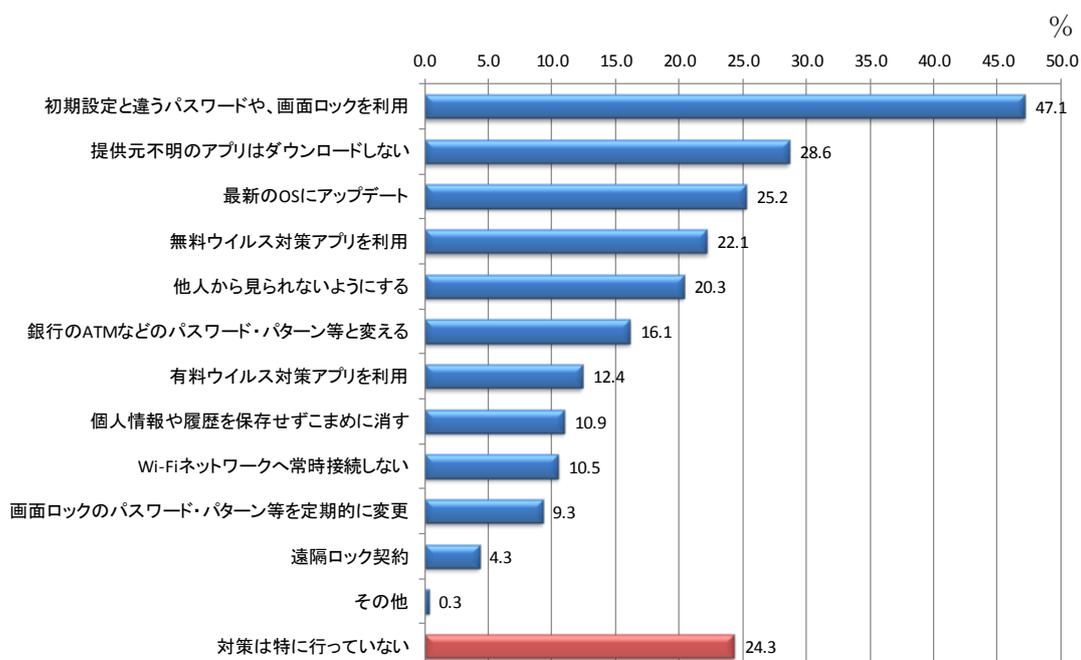


図1 スマートフォンのセキュリティ対策

## 2 — 年代によって、異なるスマホのセキュリティ対策

次に年代別に対策傾向を見てみると、若年層は「初期設定と違うパスワードや、画面ロックを利用する」など覗き見・置き忘れ対策を行っている割合が高く、シニア層は「ウイルス対策ソフトの利用」や、「提供元不明のアプリをダウンロードしない」などソフト面の対策が高い傾向が見られた。

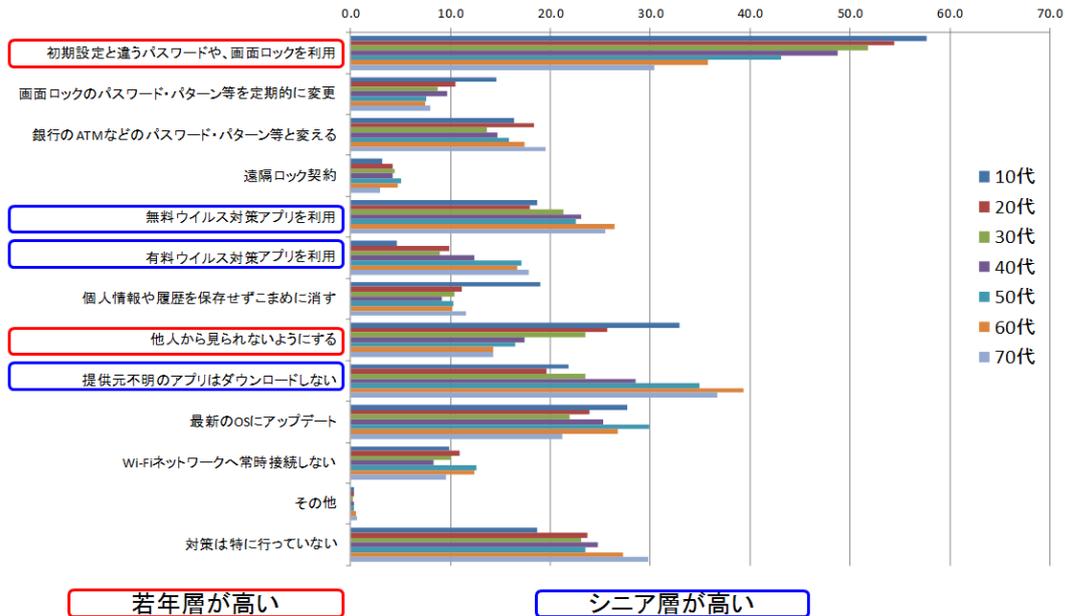


図2 スマートフォンのセキュリティ対策 年代別

## 3 — 複数組み合わせで実施している人から、初期設定中心の人まで

3つ以上の対策をおこなっている人が15%、有料アプリをベースに行っている人が11%、初期設定や有料アプリ以外の設定をしている人が22%、初期設定をベースに行っている人が28%、何の対策をしていない人が24%と別れた（図3）。

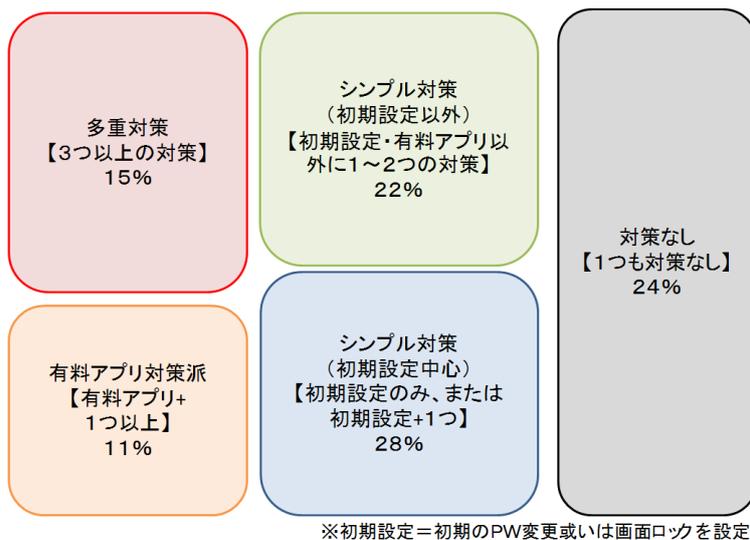


図3 セキュリティ対策傾向別グループ分け

## 4 — 若年層は初期設定中心、高齢層は2極化

若年層は「初期設定中心」の割合が多い。高齢層は「有料アプリ中心」「実施なし」の割合が高く、2極化の傾向を見せた。

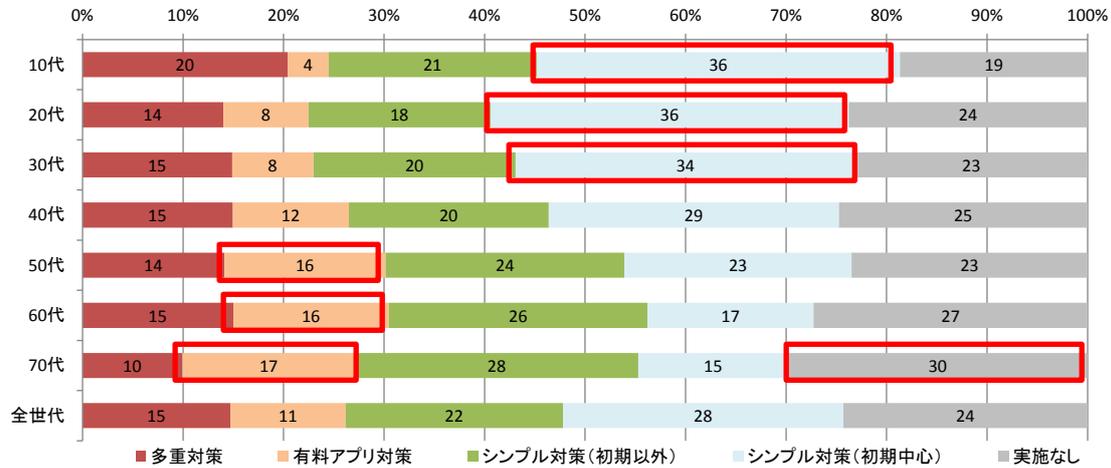


図4 セキュリティ対策傾向別グループ分け 年代別

次号では、特に何にも対策を行っていない人に注目し、分析した結果を公表する予定である。

### ■調査概要（調査名 スマホのマナー・セキュリティ調査 web 調査）

調査時期 : 2018年3月 調査対象 : 全国、15～79歳男女

標本抽出法 : QUOTA SAMPLING 性別・年齢・都道府県で割付6,000サンプル回収

### ■問い合わせ先

詳細なデータ、質問項目など、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

株式会社NTT ドコモ モバイル社会研究所 [msri-inq-ml@nttdocomo.com](mailto:msri-inq-ml@nttdocomo.com) 03-5156-1087